

带状疱疹の予防には、水痘ワクチン(乾燥弱毒生水痘ワクチン)とシングリックス(带状疱疹ワクチン)が使用されます。それぞれの違いを以下にまとめました。

項目	水痘ワクチン	シングリックス
種類	生ワクチン(弱毒化ウイルス)	不活化ワクチン(サブユニットワクチン)
適応年齢	50歳以上(带状疱疹予防目的)1歳以上(小児の水痘予防目的)	50歳以上
接種回数	1回	2回(2ヶ月間隔、最長6ヶ月以内)
予防効果	約50~60%(時間経過で低下)	90%以上(長期間持続)
持続期間	約5年	9年以上持続するとされる
免疫抑制状態の人への適用	不可(生ワクチンのため)	可能(不活化ワクチンのため)
副反応	軽度の発熱、注射部位の腫れなど	注射部位の痛み、発赤、筋肉痛、倦怠感など(比較的頻度が高い)
費用	7,700円	44,000円(2回分)

### 選択のポイント

- ・ より高い予防効果を求める場合 → シングリックス
- ・ 免疫抑制状態の方 → シングリックス(水痘ワクチンは不可)
- ・ 費用を抑えたい場合 → 水痘ワクチン

シングリックスのほうが効果は高く、持続期間も長いため、50歳以上の带状疱疹予防には推奨されていますが、費用や副反応を考慮して選ぶことが大切です。